

## I. 調査概況 General view of the study

### 1. 調査地概況 Description of the study area

原子力発電所の増設に伴う周辺地域の環境影響評価のための植生動態調査は、福井県大飯大飯町にある大島半島の先端部に位置している大飯原子力発電所構内で行われた (Fig. 1)。大島半

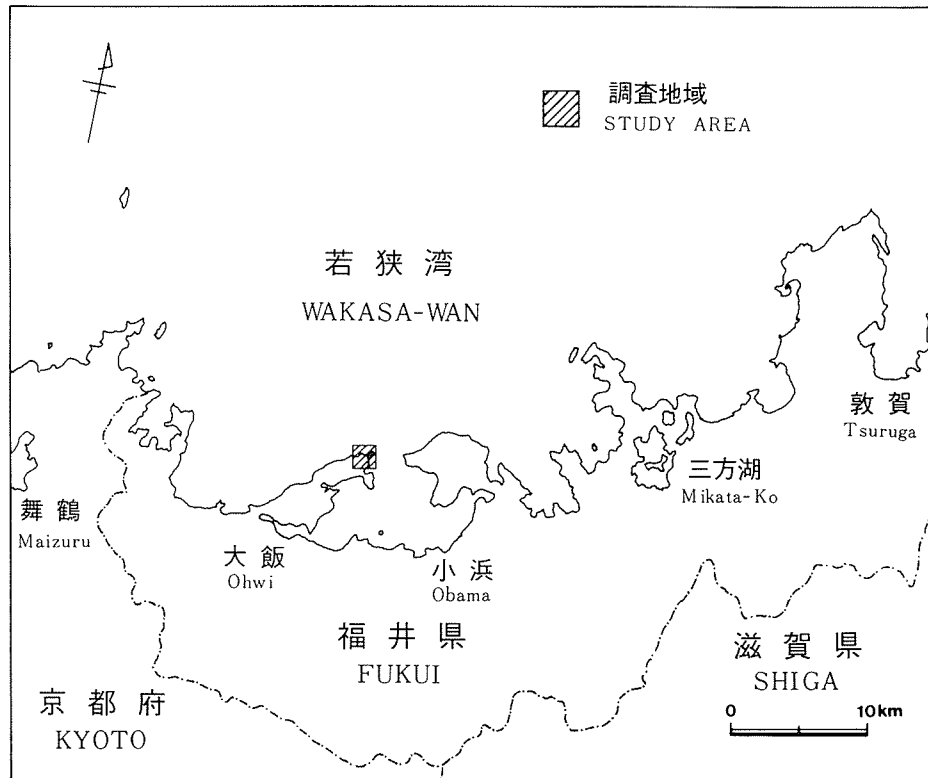


Fig. 1. 調査地域位置図

Geographic location of the Ohwi nuclear power station and the study area

島は若狭湾国定公園のほぼ中央に位置し、地形的には日本海から湾入している若狭湾に突き出している。若狭湾沿岸地域は日本海岸気候下にあるが、対馬暖流の影響もあり、年平均気温は14～15℃で福井県内の他の日本海沿岸地域に比較して暖かい。このため若狭湾沿岸地域では、ヤブコウジースダジイ群集、イノデータブノキ群集、マサキートベラ群集などの常緑広葉樹を主体とした自然性の高木～低木群落が比較的広い面積で発達している (宮脇他 1984)。

植生動態調査のために設定された永久方形区は、増設される原子炉3・4号機の北側と西側に5箇所、海水ポンプピット背面に1箇所の合計6箇所に設置された (Fig. 2)。各永久方形区の概要は以下に示された。

#### 1) 永久方形区 1

永久方形区 1 は、増設される原子炉の北側に位置し、斜面方向が南南西、傾斜角度が30度、海拔高度が115m内外の林縁部が尾根部に接した山腹斜面上部に設置された。本地域は植生自然度

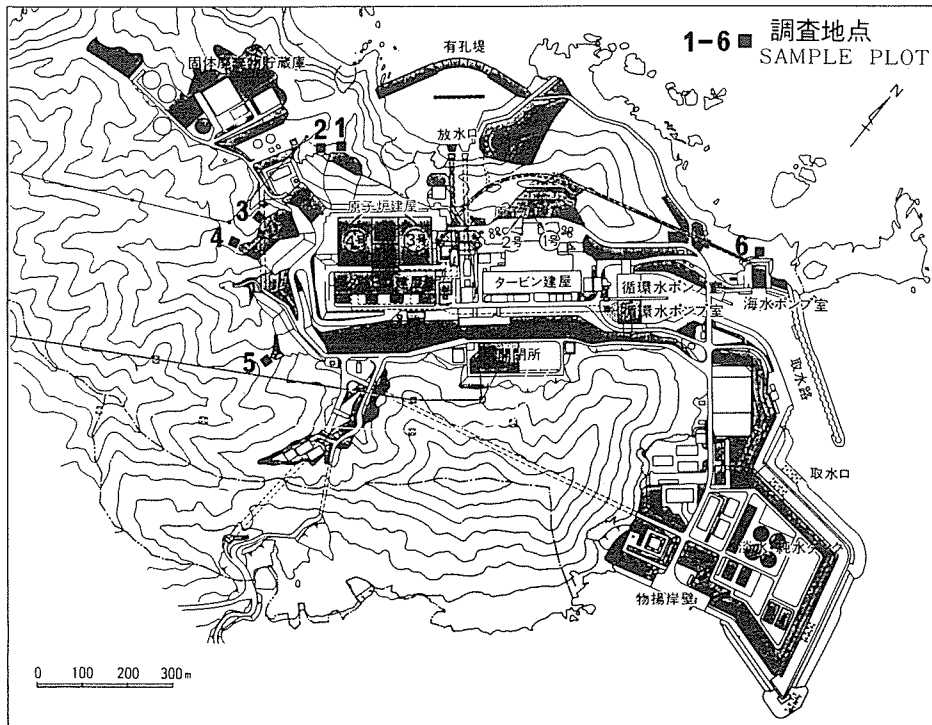


Fig. 2. 調査地点位置図  
Locations of permanent sample plots

9に相当するヤブコウジースダジイ群集の生育域にある（宮脇他 1984）。

#### 2) 永久方形区 2

永久方形区 2 は、増設される原子炉の北側に位置し、斜面方向が南西、傾斜角度が30度、海拔高度が90m内外の林縁部が尾根部に接した山腹斜面中部に設置された。本地域は植生自然度 9 に相当するヤブコウジースダジイ群集の生育域にある（宮脇他 1984）。

#### 3) 永久方形区 3

永久方形区 3 は、増設される原子炉の西側に位置し、斜面方向が西、傾斜角度が25度、海拔高度が105m内外の林縁部が尾根部に接した山腹斜面上部に設置された。本地域は植生自然度 9 に相当するヤブコウジースダジイ群集の生育域にある（宮脇他 1984）。

#### 4) 永久方形区 4

永久方形区 4 は、増設される原子炉の西側に位置し、斜面方向が北、傾斜角度が20度、海拔高度が113m内外の林縁部が尾根に接した山腹斜面上部に設置された。本地域は植生自然度 9 に相当するヤブコウジースダジイ群集の生育域にある（宮脇他 1984）。

#### 5) 永久方形区 5

永久方形区 5 は、増設される原子炉タービンの西側に位置し、斜面方向が北北東、傾斜角度が 15 度、海拔高度が 110 m 内外の林縁部が尾根部に接した比較的ゆるやかな山腹斜面上部に設置された。本地域は植生自然度 8 に相当するリョウブスダジイ群落の生育域にある（宮脇他 1984）。

#### 6) 永久方形区 6

永久方形区 6 は、海水ポンプピットの北西側に位置し、斜面方向が北、傾斜角度が 5 度、海拔高度が 18 m 内外で緩やかに海側に傾斜した海食崖端の風衝地に設置された。本地域は植生自然度 9 に相当するマサキートベラ群集の生育域にある（宮脇他 1984）。

### 2. 調査過程 Schedule of the study

福井県大飯町にある大飯原子力発電所 3・4 号機の増設に係わる周辺地域の植生動態調査は、増設工事に伴う樹木の伐採直後に行われた第 1 回目の調査（1985 年：方形区調査および写真記録）に始まる。以降、第 2 回（1986 年：写真記録）、第 3 回（1987 年：方形区調査および写真記録）、第 4 回（1988 年：写真記録）、第 5 回（1989 年：写真記録）、第 6 回（1990 年：方形区調査および写真記録）にわたる植生動態調査が行われている。本報告書は、6 年間に渡って行われた植生動態に関する植生調査資料に基づいて、各永久方形区に生育する植生の変化、動態について植生生態学的見地から纏められたものである。